

(様式1－表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	59	豊田市立 小原中部小 学校	代表	水島 一矢
------	----	---------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	感じよう、ふれあおう、ふるさと小原のすばらしさ	分野	b	地域連携
	サブテーマ — 地域の人・自然・文化からの学びを通して —	〔その他〕は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	<p>本校は、管理すべき校地が非常に広大である。また、芝生も管理している。公務手は、校舎内の業務で手一杯の状況であり、広大な校地の除草や樹木の剪定、芝生の管理にはとても手が回らない。これらの作業を教師が担うと、負担が大きすぎ、日々の教育活動や日常業務にも支障をきたす。そのため、本校においては校内整備員の確保は最優先事項である。</p> <p>これらを確保したうえで、以下の視点のもとに教育活動を進めるべく、残りの予算を配分する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 米づくりを通して作物を育てる苦労や喜びを味わうとともに、収穫したお米を使って食文化にふれる。 地域の伝統文化である豊田小原和紙の歴史や制作工程、先人の努力等を学び、ふるさとに対する誇りや郷土を愛する心を育てる。和紙づくりを通して、小原のよさを実感するとともに、小原に育つことへの誇りをもつ。 地域を支える人々との交流を通して、小原の一員としての自覚を養う。 			
活動内容・計画	<p>第一に、校内整備員による校地の除草や樹木の剪定、芝生の管理を行う。それ以外の活動については、以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 米づくり 5年生を中心に、学校田での米づくりを行う。田植え、稲刈り、餅つきなどに、地域ボランティアの協力のもと、全校で取り組む。 豊田小原和紙制作 全校で行っている和紙制作の集大成として、6年生は自分の卒業証書を和紙で制作する。 地域の方々との交流 上記の活動に際しては、講師やボランティアとして地域の方を招き、交流を行う。 			
補助員配置	<p>○ 14 校内整備員 ○ 12 校内整備員</p>			
実績・期待される効果	<p>○米づくりを通して農業の大切さを知るとともに、日々の食事への感謝の心を育てることができる。</p> <p>○地域の伝統文化である豊田小原和紙を通して、ふるさとに対する誇りや郷土を愛する心を育てる。</p> <p>○地域講師やボランティアを活用することで小原の里の特色について学ぶことができ、同時に保護者や地域の方々に本校の教育活動に対する理解を深めていただくことができる。</p>			
検証方法	<p>○それぞれの活動実施後、児童に感想を書かせ、それにより意識の高まりを検証する。</p> <p>○地域講師やボランティアの方々に、児童の活動や取組の様子について評価していただき、指導側の視点からも児童の意識の高まりを検証する。</p>			